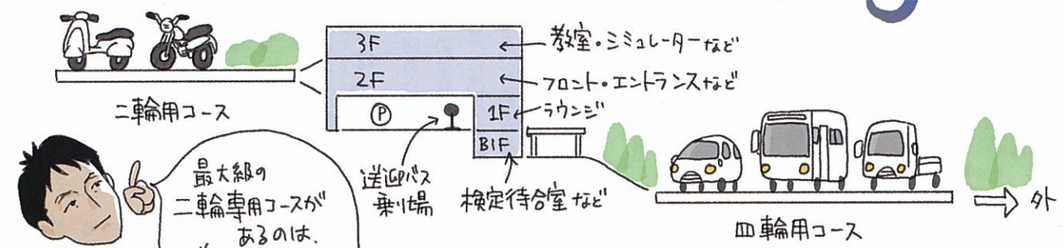
連合版 オトナの社会科見学 第9回

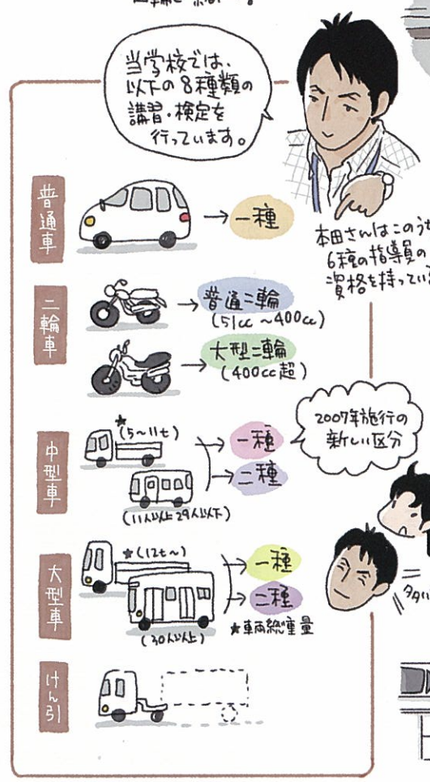
絵と文＝沼井友子

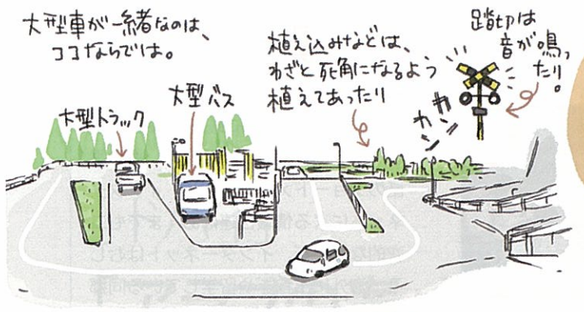
交通労連　東急自動車学校労働組合

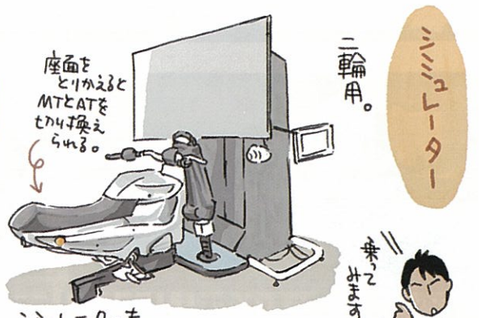
東急自動車学校

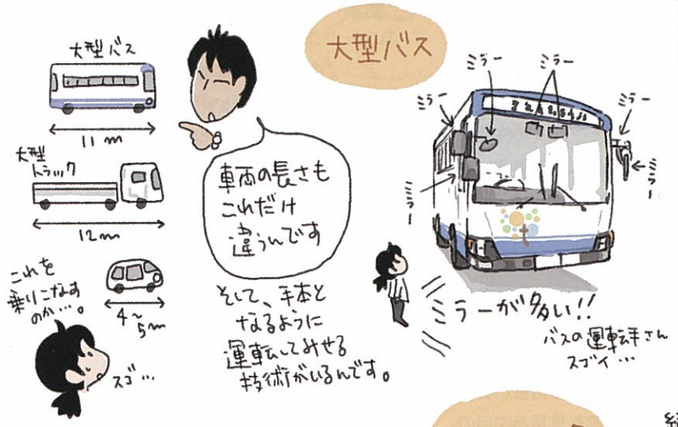
東急自動車学校は、東京都公安委員会指定教習所で、東京都多摩市の緑豊かな大自然の中にある。技能コースは四輪と二輪が完全分離、校舎には最新のAV設備やシミュレーターなどが設置され、無料託児室や送迎バスも完備されている。機能性と快適性を備えた施設において、のびのびと教習を受けることが出来る。

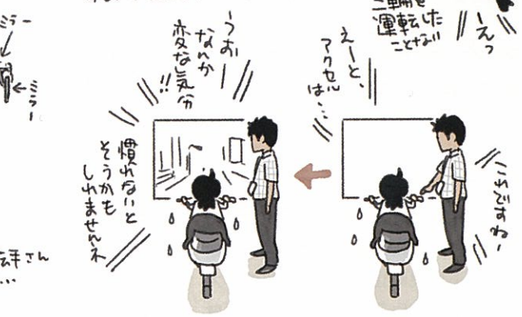


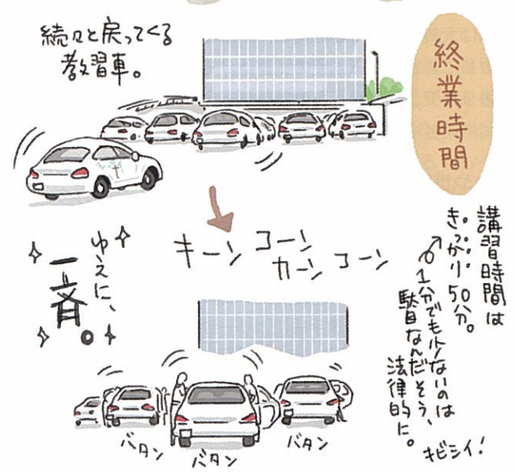












ドライバーの安全運転をめざして

多摩丘陵の一角、東西に走る幹線道路に面する東急自動車学校は、2009年12月に二子玉川から移転してきました。少子化などで全国的に減少傾向の自動車学校のなかで、「移転」というのはとても珍しいそう。今は、新天地でまさに再スタートを切ったところです。

ここの特色は、取得できる免許の多さ。運転免許10種類のうち8種類が取得できます。本田さんは指導員13年目、6種類の指導員の資格を持っていて、ある時間は普通車、次の時間は大型…と担当することも。「車幅の感覚が狂いませんか？」と尋ねると、「大変ですよ（笑）。でも指導員は、そういう切り替えに慣れています。それに、同じことの繰り返しはマンネリ化することもあるので、良い刺激になるんです」。

運転を指導する技能から座学の講義まで、指導員がこなす範囲は実に幅広いもの。担当の内容が確定するのはほぼ前日の夜で、当日に変更があることも。「初心者の隣で怖くないですか」との問いには「良く聞かれますけど、怖くないです（笑）。突発的なことってまずないんです」。指導では「技術や法律だけではなく、ドライバーとしてのマナーやモラルもアドバイスしますし、50分の間に一定のレベルへ引き上げないといけない。生徒さんは緊張していますから、そのつど顔色を見ながら、端的で的確な言葉をと心がけています。だから、上手く伝わったときは嬉しいですよ（笑）」。

自動車教習は、教習の内容や時間、資格の内容など細かく法律で定められている世界。本田さんも6種以外に高齢者講習などの資格も持ち、年に一回は指導員の講習を受けます。そこでは、死亡事故の事例に接することも。「加害者は、普段から危険な運転をしていたわけじゃない。何かの拍子に加害者と被害者になって、その行く末は本当に切ないものです。これは誰しもに起こること。皆さんも是非、安全運転で！」。